



やまざき く に ひろ
山崎 邦廣 議員

問 人口減少の課題克服策は

答 仕事・女性活躍・情報発信強化で

では、移住定住者に対するソフト事業の支援策

議員 人口減少へ対応する具体的成果を伺う。
町長 人口減少対策については、町長就任以来町の最重要課題の一つとして取り組んできた。27年に「町人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を受け、28年に人口減少対策をさらに前進させるため、移住定住対策の専任部署「いらっしやい葛巻推進室」を設置し、「観光交流」「商工業振興」と併せ一体的に取り組む体制を構築している。移住定住対策では、25年度から定住促進住宅や子育て支援住宅を整備し、現在11棟26世帯分の受け入れ環境を構築し、その入居率は常時8割程度で推移している。



くずまき観光地域づくり協議会総会の様子

各種奨励・助成事業でこの5年間に104件、約1700万円を交付した。町外からの移住件数は、3年間で52件となっている。商工・観光施策では、28年に「くずまき観光地域づくり協議会」を設立し、若者雇用創出の取り組みに29年度は述べ800人以上の方が参加している。こうした取り組みにより、昨年度、本町は県内

各町村では減少率の少ない方に位置付けられている。また、昨年11月末に前月比の人口が増に転じ、今年8月末も前月比増となった。今後は、継続的に増に転じていけるよう取り組みを進めていきたい。
議員 今後の取り組みの考え方は。

町長 特に優先して解決すべき課題として「仕事の確保」「女性活躍の推進」「効果的な情報発信」を強化していく。仕事の求人と求職の効果的なマッチングや起業・継業の推進など関係部署間の連携をより強化する必要があると考えている。農林業の季節需要や臨時的業務などを切れ目なく行っていく「マルチワーキング」など新たな仕事のモデル作りの導入も検討していく。生き生きと活躍する女性の活動や自発的取り組みは、町全体の魅力や活力の向上につながっており、取り組みの支援を強化していく。町の取り組みが町民一人一人に、しっかりと伝わるよう「広報くずまき」や「くずまきテレビ」を効果的に活用した情報発信に取り組んでいく。

～ 今ここが聞きたい ～

9月11日に、2議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 バイパスと国道の連絡道は

答 庁舎周辺と田ノ沢に設置予定



しば た い さ お
柴田 勇雄 議員

議員 町道茶屋場田子線と国道281号をつなぐ連絡道の設置は。
町長 連絡道は新庁舎建設後の庁舎周辺と、田ノ沢地区の消防葛巻分署移転後の敷地活用で2か所に設置する予定。
議員 役場裏から葛中入口交差点までの町道下町田子線への歩道整備の考えは。
町長 町道下町田子線は、整備中の茶屋場田子線と接続となり、完成後は交通量の増大が見込まれ、通学路・歩行者の安全確保を図る上から歩道整備したい。葛中入口交差点の改良を含め、国道管理者の県と協議を進める。
議員 町道宝積寺線入口
議員 宝積寺線の整備

付近の整備促進は。
町長 町道宝積寺線入口付近は、急勾配で道幅が狭く、国道への見通しが悪い現状。付近の民家が最近解体され、その用地を県が取得した。早期改良に向け、県に要望する。
議員 城内小路の急カーブ
議員 城内小路地区急カーブ解消の見通しは。
町長 急カーブ解消については、これまでも重要



道幅が狭い町道宝積寺線の入口付近

事項として県に長年要望してきた経緯にある。28年度末に地権者・沿線住民を対象に説明会を開催し、路線改良調査の同意を得たと聞いている。現時点で県から実施計画が示されていないが、引き続き国・県に要望する。
議員 町中心部流雪溝の段差解消の取り組みは。
町長 町中心部の流雪溝

は、老朽化から鉄筋の露出や大きな段差が生じている。大規模改修は9月中旬以降工事発注との連絡を県から受けている。全面的な改修も含め継続要望していく。
議員 障害者雇用の実態
議員 中央省庁などでは、障害者の水増し算定雇用が発覚しているが、町職員の障害者雇用の実態は。
町長 障害者の雇用を促進するため、法律で事業者に対し法定雇用率以上の障害者を雇用するよう義務付けており、従業員数が45人以上の事業所が対象となる。町職員は、町長部局で非常勤職員を含め116人在職。法定雇用率2.5%を乗じて得た数値は2.9人となる。小点数以下切り捨てとなり2人以上の障害者雇用が必要で、制度上クリアしている状況。